

質問 地域防災計画の基本方針では、災害から自らのまちは自らが守ると掲げているが、①自助・共助・公助を実現するため、自分自身や家族の身を守る自助の行動を多くの市民に知ってもらう、備えてもらうべき。周知・啓発の状況は。②自然災害時の在宅避難の取り組みについて、啓発活動の状況は。



無党派 南雲隆志 議員

防災・自治会の支援について

質問 周知・啓発を図っている。自治会の支援について、①自治会活動の活性化を図るため、各種補助金を増額する考えは。②集会所の突発的な故障等に対応できるように、通年で補修に對する補助を実施する考えは。

回答 ①各種補助金の増額に限らず時代に即した多角的な支援が必要のため、どのような支援が効果的か引き続き検討を深めていく。②どのような支援が効果的か検討していく。

質問 交通安全対策について、①車両交通量の多い狭い道路環境の各種整備に努めていく。②警察から市に情報提供される仕組みがないため、作成は難しい。引き続き効果的で分かりやすい情報提供などに努めていく。

回答 ①教育現場における喫緊の課題と捉え、学校の働き方改革実施プランを策定し、学校と一体となつて業務改革の推進に努めている。②庁内で検討を進めており、今後、学校の意見等を踏まえ直しを図っている。

質問 人口変動下における市政運営について、多くの自治体の人口が減少する中、本市の人口が増加傾向にあるのは、住みやすいまちづくりの政策が良い方向に進んでいる賜物と考える。①財政運営における今後の方針は。②老朽化が進む中学校について、少子化対策等の観点から再編や改築など、今後の方向性は。③老朽化している公共施設の建て替えの際には、イーストテラス・サブスリーのような複合的な施設にすべきと考える。見解は。④子育て施策の拡充や健康対策の充実などを図りつつ、行政の省力化を行う考えは。



自由民主党昭島市議員 木崎 親一 議員

人口変動下における市政運営について

質問 財政需要の把握等に努め、基金と市債を計画的に活用し、各種施策を着実に推進するための財源の確保を図る。①地域コミュニティへの影響等を十分に考慮した再編への慎重な検討が必要と考えており、長寿命化による延命と建て替えによる更新の両面から検討する。①引き続きDXの推進による業務改善・改革や民間活

回答 ①各種補助金の増額に限らず時代に即した多角的な支援が必要のため、どのような支援が効果的か引き続き検討を深めていく。②どのような支援が効果的か検討していく。

質問 令和7年6月の給付法改正により、教育委員会業務管理・健康確保措置実施計画を策定・公表することが義務付けられた。①教員の業務量削減について、考えは。②実施計画の策定状況は。

回答 ①教育現場における喫緊の課題と捉え、学校の働き方改革実施プランを策定し、学校と一体となつて業務改革の推進に努めている。②庁内で検討を進めており、今後、学校の意見等を踏まえ直しを図っている。

質問 地域人材や企業・団体における指導員の確保、を開設し、障害特性や体調に合わせた柔軟な働き方を支援しており、今後も就労支援に努めていく。②現時点において市独自のプラットフォームを構築する考えは。③先自治体の動向や事業者側の需要等について調査・研究していく。

一般質問 (要旨)



友情も20周年 (はたちのつどい)

質問 子どもの性被害防止に向けて、保育園で実際に起きた事案に対し、どのような再発防止策を講じたのか。

回答 人員体制の見直しやモニタリングカメラの調整、新規設置のほか、全職員を対象とした研修を実施した。



無党派 なかおふみヒト 議員

給付法改正後の対応 超短時間雇用モデルの導入について

質問 時間雇用モデルは、新たな社会参加の可能性を秘めている。①導入について、見解は。②他自治体の成功事例を参考に、超短時間雇用を推進するための地域連携プラットフォームを構築する考えは。

質問 児童扶養手当の現況について、当事者や職員に負担軽減のため、オンライン申請を導入する考えは。②他自治体で個人情報保護の観点から、どのよう

回答 ①導入に当たっては企業側の努力を要し、課題があるものと考えられる。市ではチャレ

請願・陳情の提出方法

請願等の書式(例)

〇〇〇〇に関する請願
(紹介議員がないものは陳情)

請願(陳情)の要旨

紹介議員 〇〇〇〇印

年月日
(あて先)昭島市議会議長 請願(陳情)者
住所 〇〇〇〇
氏名 〇〇〇〇印
電話 〇〇〇〇

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。議会に提出された請願等(陳情で内容が請願に適合するものを含む)は、担当委員会で審査されます。

なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

請願・陳情

陳情 件名	提出者	審査委員会 審査結果	本会議の 審議結果
昭島市内の小・中・高・特別支援学校における「いじめ」をなくす取り組みに関する陳情	一般社団法人 共存共栄クラブ 代表理事	厚生文教委員会 不採択	不採択

